

カーボンニュートラルに関する最新情報セミナー

日本のカーボンニュートラルの実現のためには、水素およびそのキャリアとしても注目されるアンモニアが重要な役割を担っています。GX 経済移行債においては今後、水素・アンモニア関連として約7兆円もの投資が予定されているところであり、今国会で可決・成立した「水素社会推進法」を踏まえた投資準備行動が加速しているところです。事業者としても、こうした情勢を踏まえた投資戦略をタイムリーに策定し実行していくことが大変重要となります。

そこで、今回はその第一人者である NPO 法人 国際環境経済研究所 主席研究員の塩沢文朗氏を招聘し、「水素、アンモニア等に期待される役割」「導入は、今後どのように進んでいくのか」「導入拡大に向けた課題と今後の見通し」等について紹介いたします。

日付

7/31 (水)
13:30-15:20

方式

オンライン同時配信
(Zoom ウェビナー)

定員

先着500名

カーボンニュートラルに関する最新情報セミナー

「カーボンニュートラルの実現に向けた課題と水素、アンモニアの役割」

《講師》

NPO 法人 国際環境経済研究所 主席研究員
(元内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「エネルギーキャリア」サブ・プログラムディレクター)

塩沢 文朗 氏

【補足】 本セミナー終了後、「2024年度中国地域カーボンニュートラル推進協議会(協議会会員限り 15:30~16:30)」を開催しますので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

【申込フォーム】

<https://forms.office.com/r/iEbAzzSsqx>

上記「申込フォーム」に、7月17日(水)までにお申し込み下さい。

《個人情報の取扱いについて》

ご提供いただいた個人情報は、本イベントの運営および本イベントに関するご連絡、出席者名簿作成、今後の中国地域カーボンニュートラル推進協議会および中国経済連合会のイベント等のご案内に使用します。作成した出席者名簿は講師・発表者に配付します。個人情報については、個人情報保護法を遵守し、法令等の定める場合を除き、第三者への提供を行いません。



講師紹介

NPO 法人 国際環境経済研究所 主席研究員 (元内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「エネルギーキャリア」サブ・プログラムディレクター)

塩沢 文朗 氏

【略 歴】



- 1977年 横浜国立大学大学院修了（工学研究科化学工学専攻）
- 1984年 Stanford 大学大学院 Communications 学部 M.A.
- 1977年 通商産業省入省
経済産業省大臣官房審議官（産業技術担当）
内閣府大臣官房審議官（科学技術政策担当）等を務め、2006年
に退官
- 2006年 （財）日本規格協会理事 国際標準化支援センター長
- 2008年 （株）住友化学入社
理事、気候変動対応室部長等を務め、2021年に退社
前記職務に従事中、以下の職務に従事：
- 2014～18年 内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）
「エネルギーキャリア」 サブ・プログラムディレクター
- 2011～12年 OPCW（化学兵器禁止機構）事務局長アドバイザー
- 2016～18年 ICCA（国際化学工業協会協議会）エネルギー・気候変動
リーダーシップG議長

現在は、(NPO 法人) 国際環境経済研究所主席研究員のほか、民間企業で DX、標準化、気候変動問題関連のアドバイザーを務めている。